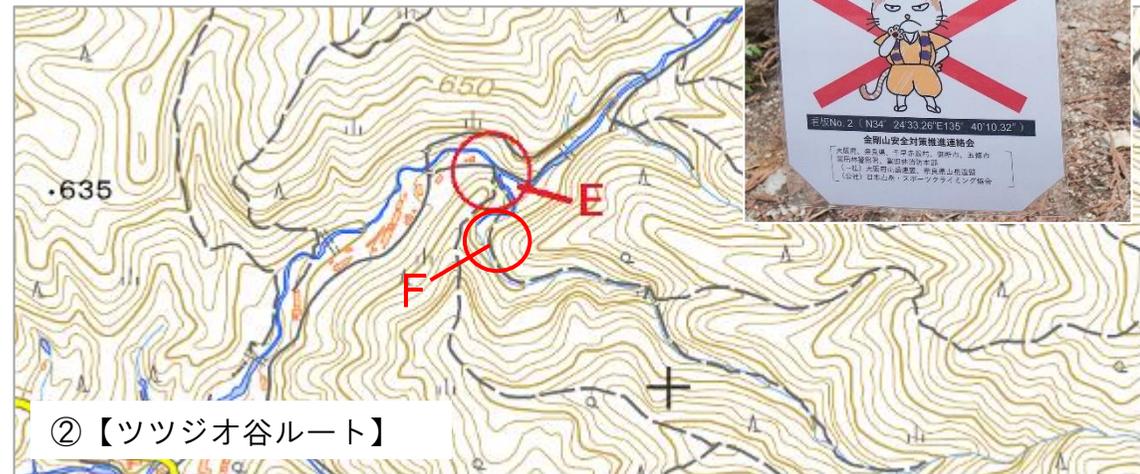
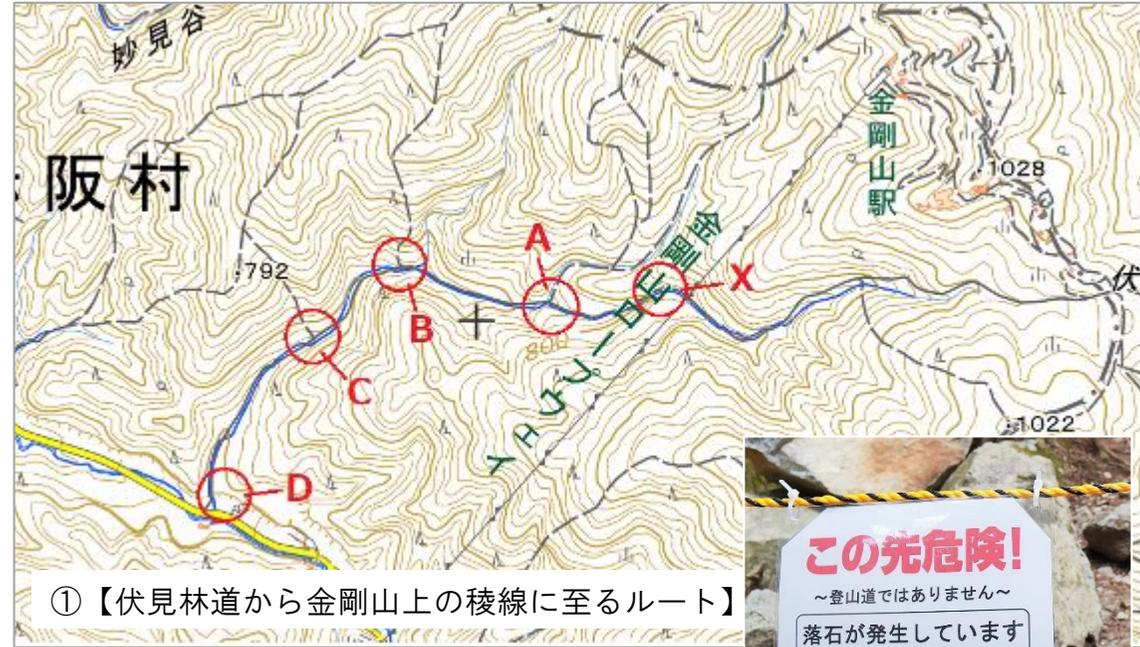
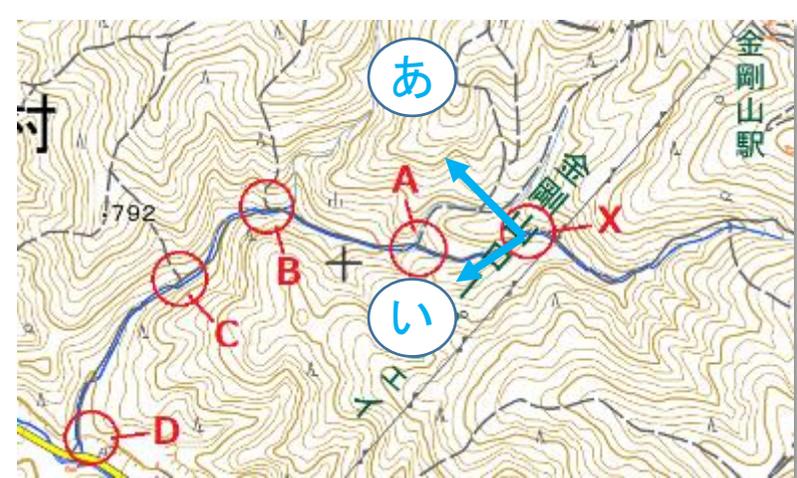


金剛山減遭難活動実績①

- 日時 2022年3月17日10時～13時
- 場所 ①伏見林道から山上へのルート
②ツツジオ谷入り口
- 内容 利用者が多く、今後勝手道が広がる恐れのある箇所(point)の点検、啓発看板及びロープの設置
- 参加者<金剛山安全対策推進連絡会>
 - ・大阪府 3名
 - ・富田林警察 1名
 - ・(一社)大阪府山岳連盟 5名<金剛山安全対策推進連絡会以外>
 - ・金剛山地元ガイド 1名

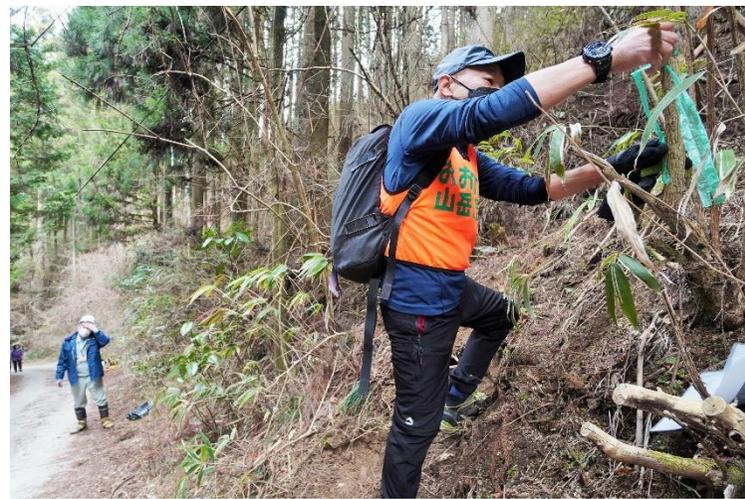
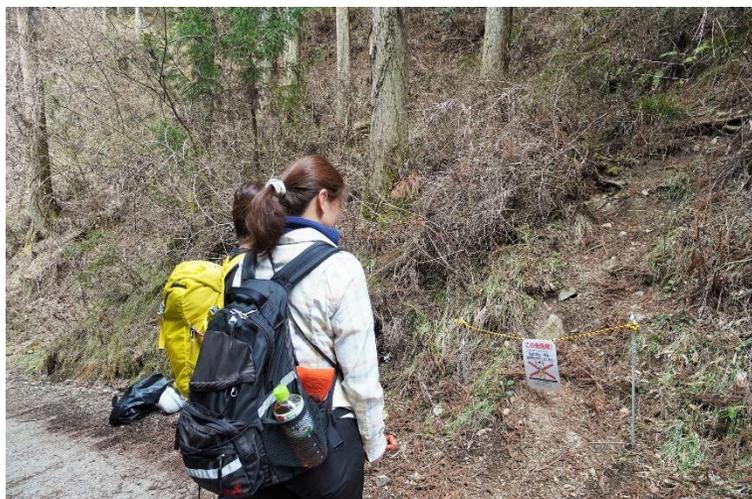


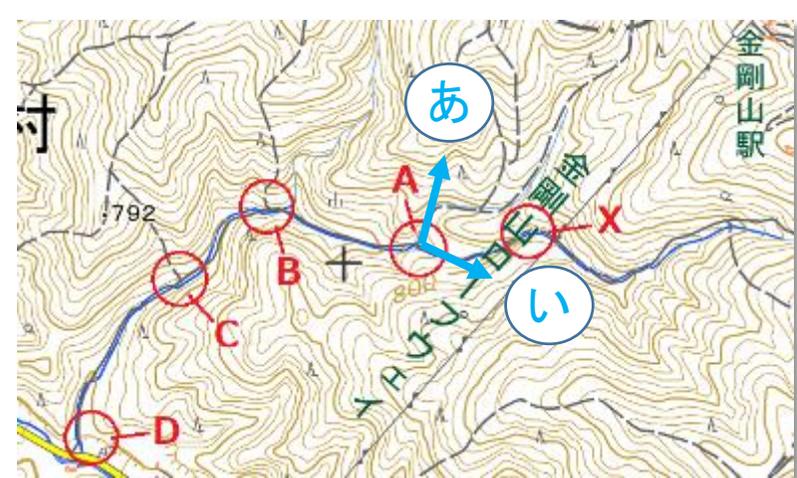


- X地点は踏み後の発達した勝手道で慣れた上級者向け。分岐が多く道迷いを誘発する恐れがあるので付近の入り口2ヵ所に注意喚起した。



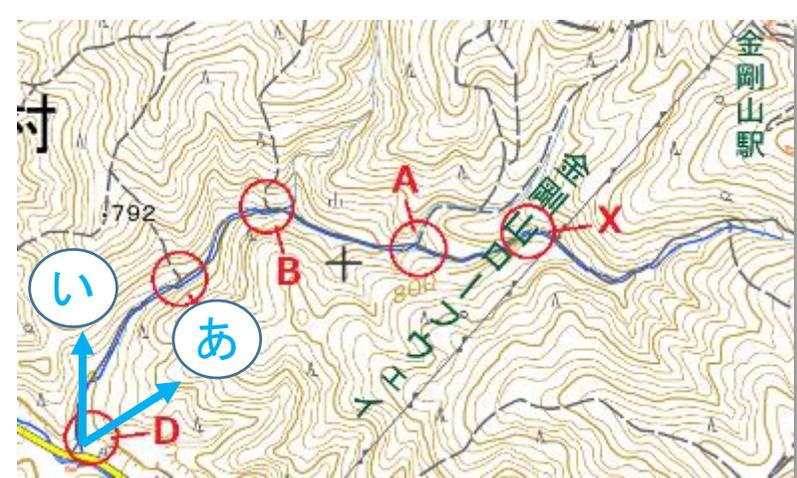
入り口を示す目印を取り外した



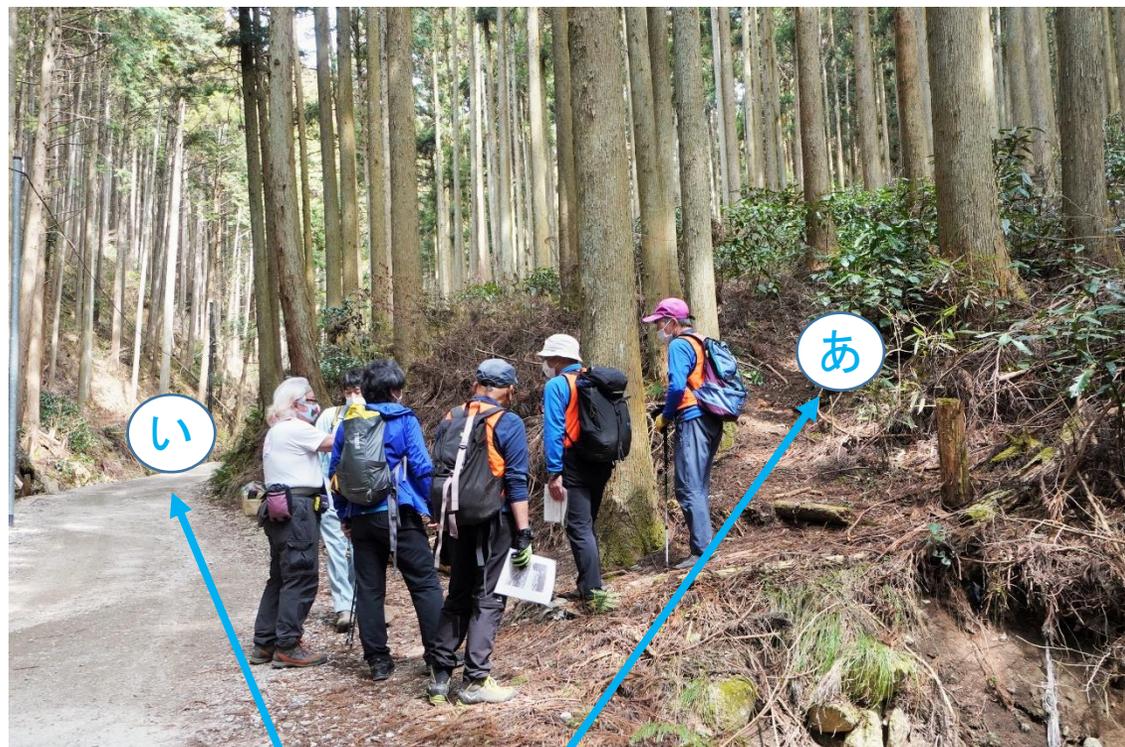


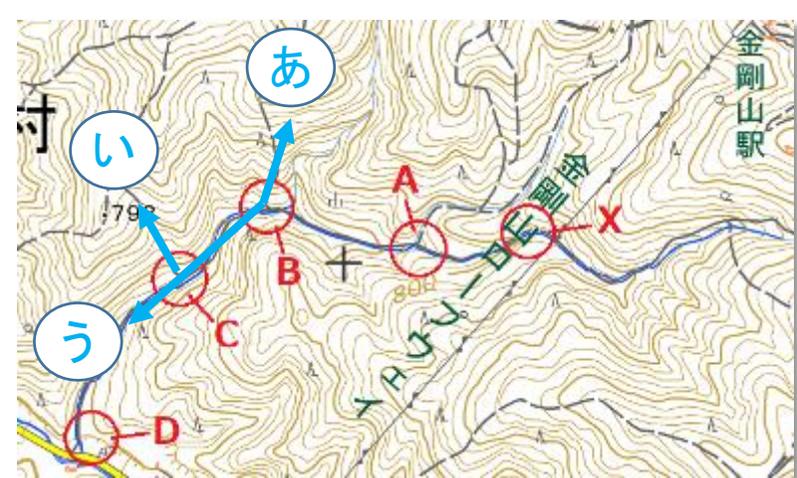
- A地点は比較的楽に山上稜線に出る利用者の多い谷筋ルートであるが、落石が頻発するため地元自治体より注意喚起の要請が出ていた。



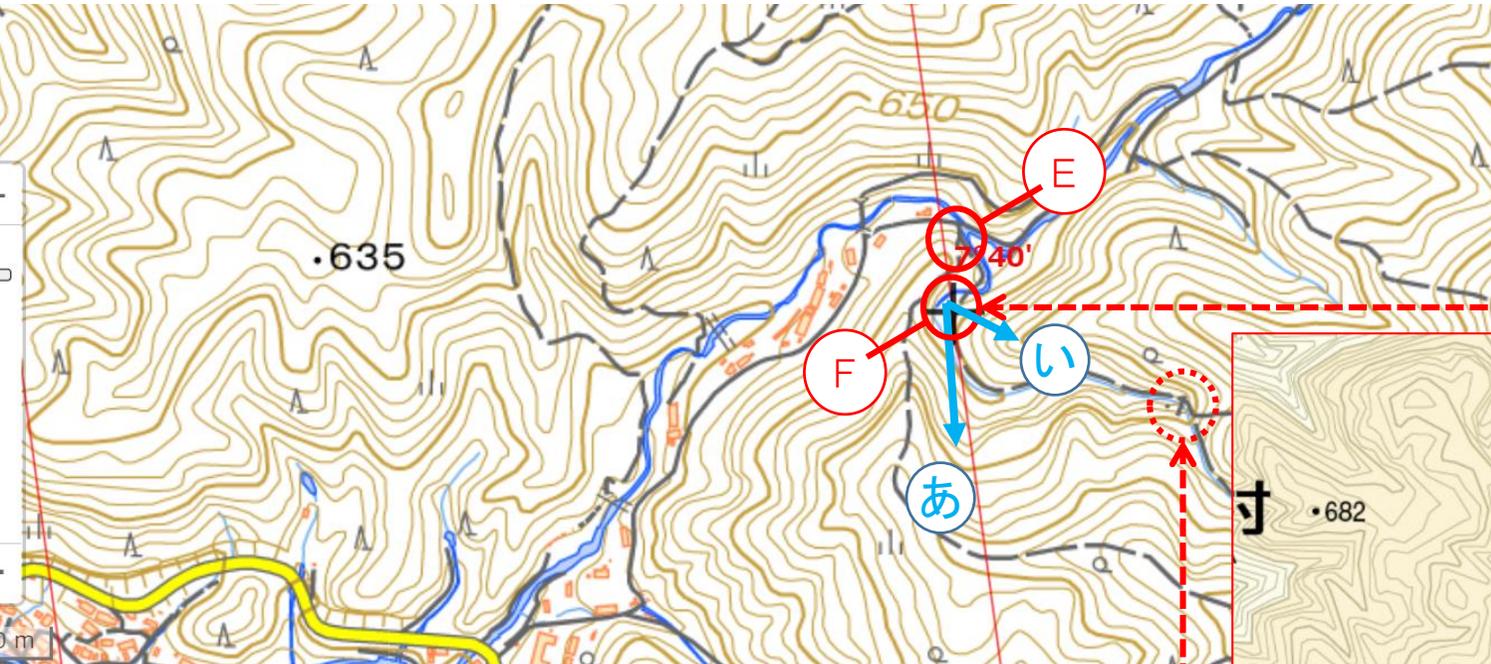


- D地点は、中腹より踏み後も薄い藪漕ぎルートだが、入り口に確かな踏み後があるため、注意喚起をした。





- B、C地点は、上りでの事故は少なく、下りで出合う幾多もの分岐を間違っって道迷いする例が多い登り口となるため、下りでの啓発方法を検討することとして、今回登り口での看板設置は見送った。



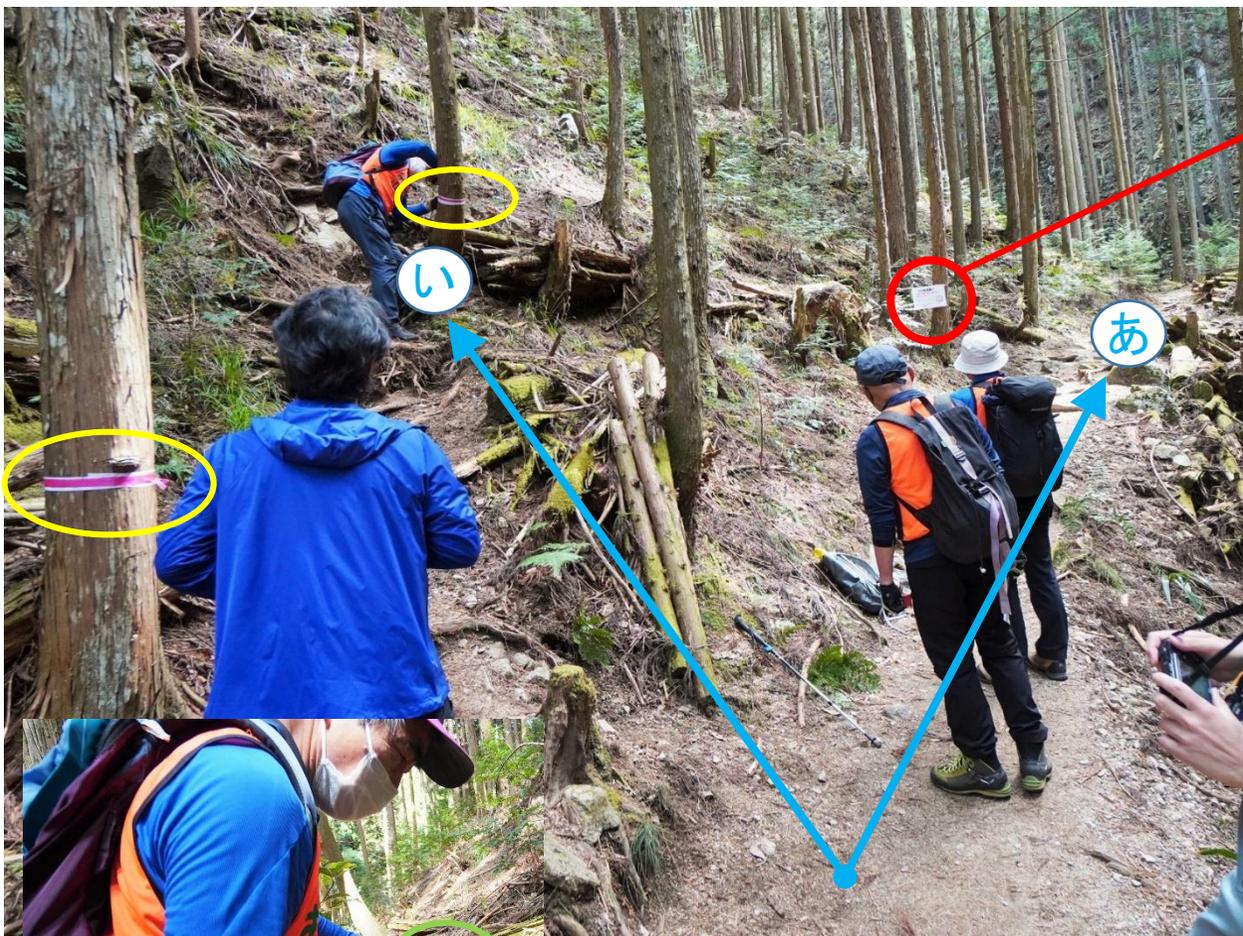
- 看板取り付け分岐付近
 - ⊙ 事故多発箇所（腰折滝）
 - あ
 - い
- F 地点での、撮影方向

あ 大阪府南河内郡千早赤阪村大字千早（付近の住所。正確な所属を示すとは限らない。）
 34度25分16.94秒 135度39分15.68秒 34.421373,135.654356 ズーム: 16
 UTMポイント: 53SNU60120907
 標高: 602.9m (データソース: DEM5B)



- E地点は、がけ崩れ等頻発する危険道で、腰折滝付近では死亡事故例もある。
- そのため、入り口 (E) では連絡会の警告看板を、また分岐 (F) で、松の木尾根に誘導する目印とJMSCA看板を設置し、注意を喚起した。

- (F)では地権者が不明のため、JMSCA看板を設置した。



← 余分なテープ除去し、新たに白×赤テープを施し、安全なルートに誘導

- 入り口 (E) で、連絡会の看板を設置した。